

AT907 USER GUIDE



もくじ

| | |
|-------------------------------------|----|
| はじめる前に..... | 4 |
| 製品概要..... | 5 |
| 1. 製品概要..... | 5 |
| 2. 主な用途・適用範囲..... | 5 |
| 3. 動作環境および条件..... | 5 |
| 4. 安全及び保護措置..... | 5 |
| 機能パラメータ..... | 6 |
| 1. 主な機能..... | 6 |
| 2. 製品仕様..... | 6 |
| 構造的特性と動作原理..... | 8 |
| 1. 機器の外観..... | 8 |
| 2. バッテリーの装着及び取り外し..... | 9 |
| 3. 終了 / 待機 / 再起動..... | 10 |
| 4. 機器バッテリーの充電..... | 11 |
| 共通機能および設定..... | 12 |
| 1. お知らせメニューとクイック設定..... | 12 |
| 2. USB ドライバのインストールと PC 間のデータ同期..... | 12 |
| 3. ディスプレイ設定..... | 13 |
| 4. 音の設定..... | 15 |
| 5. モバイルネットワーク接続設定..... | 16 |
| 6. Wi-Fi 機能設定..... | 17 |
| 7. BLUETOOTH 機能設定..... | 18 |
| 8. そのほかの設定..... | 19 |
| 9. カメラ機能..... | 22 |
| バーコード機能の紹介..... | 23 |
| 1. サポートしているバーコードシンボル..... | 23 |
| 2. バーコード照準システム..... | 23 |
| 3. バーコードデモプログラム..... | 23 |
| 4. バーコード機能利用プログラムの開発..... | 26 |
| UHF RFID 機能の紹介..... | 27 |
| 1. UHF RFID デモプログラム..... | 27 |
| 2. UHF RFID 機能 利用アプリケーションの開発..... | 27 |
| KEYBOARD WEDGE..... | 29 |

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. KEYBOARD WEGE アプリケーション動作画面 | 29 |
| 2. KEYBOARD WEGE アプリケーションの利用..... | 29 |
| 製品保証事項..... | 30 |
| 1. AT907 製品 詳細情報 | 30 |
| 2. SDK ダウンロード | 30 |
| 3. 保証およびテクニカルサポート | 30 |
| 4. 認証情報..... | 30 |

はじめる前に

本マニュアルは(株)ATID が発行したもので、(株)ATID でのみコピー、編集、配布することができます。説明書の一部は、実際の機器と異なる場合があります。説明書の内容は予告なく変更される場合があります。

このマニュアルは、AT907 のインストール、設定、メンテナンス、および使用を行うユーザー向けに作成されました。AT907 の機能とインストール、構成、動作、およびメンテナンス方法に関する情報を提供します。

安全関連情報

本機を使用する際、ユーザーの皆様の安全は何より重要です。製品を作動する前に、この文書のすべての注意事項を読み手順に従うようお願いいたします。安全注意事項に従わないとダメージを負う可能性があります、製品やデータが損傷する可能性があります。



警告

不適切に機器を使用または動作させると、機器が損傷する可能性があります。



注意

この表示を無視して機器を動作させますと、作業に失敗したり、意図しない動作を機器が実行することがあります。

製品概要

1. 製品概要

AT907 ポータブルリーダーをご使用いただきありがとうございます。本ポータブルリーダーは、お客様のIoTアプリケーションシナリオのニーズと組み合わせ当社で開発した新しいリーダーです。本製品は速い処理速度、優れた携帯性と高い機能統合性を備えた知能型多機能 UHF-RFID タグ、バーコードリーダーです。

2. 主な用途・適用範囲

AT907 ポータブルリーダーは、様々な機能を通じて衣類小売業、倉庫管理、資産管理、洗濯物管理など多様な分野に幅広く適用できます。

3. 動作環境および条件

AT907 ポータブルリーダーは、以下のような環境条件で使用可能です。

- 1) 動作温度： -20℃ ~ 50℃
- 2) 保存温度： -20℃ ~ 70℃
- 3) 動作湿度： 5%-95% (non-condensing, +25℃)
- 4) 保管湿度： 5%-95% (non-condensing, +25℃)

4. 安全及び保護措置



リーダーのタグリーディング機能を使用すると、機器から強力な電磁波が出力されます。人や動物を長い間狙わないでください。



使用前の注意事項の内容を参考にしてください。



この機器を含むすべてのワイヤレス転送機器は、適切な保護なしに医療機器の動作を妨げる可能性があります。問題がある場合は、その医療機器メーカーにお問い合わせください。機器の動作は、他の電子機器の妨げになる可能性があります。

機能パラメータ

1. 主な機能

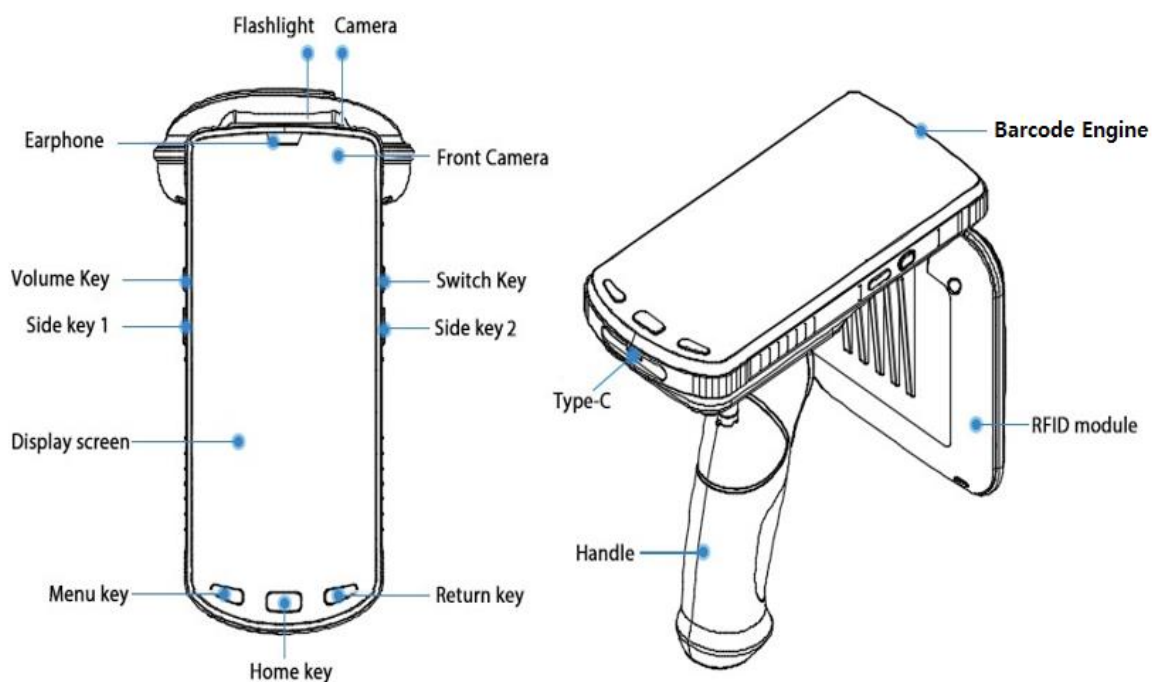
- 1) EPC Global UHF Class 1 Gen 2 / ISO18000-6C プロトコル対応
- 2) 1D および 2D バーコードデータキャプチャ機能をサポート
- 3) 4G ネットワーク (Data), Wi-Fi, Bluetoothなどによるデータ無線電信をサポート
- 4) GPS 位置確認対応
- 5) カメラ
- 6) 簡単なユーザーインターフェース
- 7) タッチスクリーン及び各種言語対応
- 8) 2次開発の為に Java SDK および標準開発環境を提供

2. 製品仕様

| Performance | | |
|--------------------------|---|---|
| Processor | Octa-Core 2.0GHz | |
| Memory | RAM 4GB / ROM 64GB | |
| Operating System | Android 10 | |
| Physical Characteristics | | |
| Dimensions (L x W x D) | 170 x 103 x 150mm | |
| Weight | 650g | |
| Power | 9,000mAh / Li-ion / Rechargeable Standby : over 200 hours Continuous Use : over 14 hours (depending on user environment) Adaptor : DC5V / 3A | |
| Display | 5.5" IPS HD (720 x 1440) | |
| USB Interface | 1 USB Port / Type-C / OTG | |
| Notification | LED Indicator, Speaker, Vibrator | |
| Sensor | Accelerometer | |
| Slot | 1x Sim Card Slot, 1x TF Card Slot (Support up to 256GB), 1x PSAM Card Slot | |
| Data Collection | | |
| RFID (UHF) | Protocol | EPC GEN2, ISO/IEC 18000-6C |
| | Reading Range | ~10m (Depending on environment and tag type) |
| | Writing Range | ~0.5m |
| | RF Output | 1W (MAX) |
| | Frequency Range | US / FCC : 902MHz ~ 928MHz EU / CE : 865MHz ~ 868MHz |

| | |
|-------------------------|---|
| | KR / KC : 917MHz ~ 921MHz JP / TELEC: 916MHz ~ 921MHz (1W) : 916MHz ~ 924MHz (0.25W / Optional) |
| Antenna | Circular Antenna / 4dBi |
| Barcode | 2D Engine (Support to read 1D & 2D Barcode) |
| Front | 5M Pixel |
| Camera Rear | 13M Pixel |
| Communication | |
| Bluetooth | BT V2.1+EDR / BLE V4.2 |
| GPS | GPS, Tolerance ±5m |
| WLAN | 802.11 a/b/g/n/ac (2.4GHz / 5GHz) |
| WWAN | 2G : GSM / GPRS / EDGE (850 / 900 / 1800 / 1900MHz) 3G : WCDMA (850 / 1900 / 2100MHz) 4G : TD-LTE (Band 38 / 39 / 40 / 41) FDD-LTE (Band 1 / 2 / 3 / 4 / 7 / 17 / 20) |
| User Environment | |
| Operating Temp | -20°C to 50°C |
| Storage Temp | -20°C to 70°C |
| Charging Temp | 0°C to 45°C |
| Humidity | 5~95% (non-condensing, +25°C) |
| Drop Spec | 1.5m |
| Sealing | IP65 |

1. 機器の外観



1) Camera & Barcode Engine

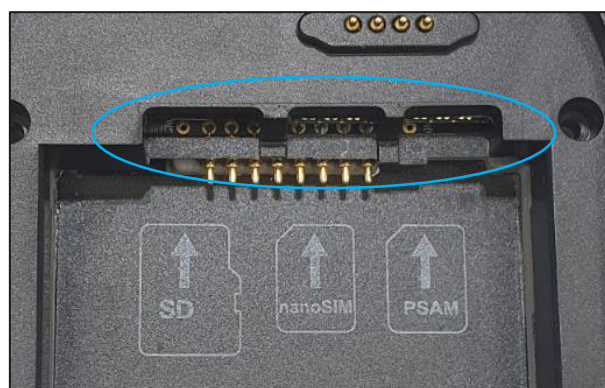
カメラとバーコード機能はモジュール形式で適用されています。カメラは写真や動画撮影などの機能に使用でき、バーコード機能を通じて1Dおよび2Dバーコードを認識してデータを収集することができます。

2) RFID module

RFID module パーツには UHF アンテナとモジュールが組み込まれています。

3) バッテリー

バッテリーは Handle と統合されている Rear Cover を外すとあります。バッテリーを外すと SIM Card や TF Card など装着できるスロットがあります。



4) USB Type-C インターフェース

USB Type-C インターフェースは充電のための電源入力ポートとして使用されますが、他の機器やモバイル機器間のデータ通信にも使用できます。 AT907 が HostDevice で動作する OTG(On-The-Go)機能もサポートします。

5) Switch Key

機器の電源を ON/OFF するキーです。 機器の動作の詳細については、“3. 終了/待機/再起動”を参照してください。

6) Side Key 1, 2

ユーザーが機能を指定できるキーで、一般的に UHF リーディングやバーコードスキャン機能キーとして使用できます。

2. バッテリーの装着及び取り外し

1) バッテリーの装着

機器の背面にバッテリーを装着した後、リアカバーを組み立ててナットを締めてリアカバーを固定します。



2) バッテリーの取り外し

バッテリー装着の逆順でリアカバーのナットを外し、取っ手を上に斜めに外してからバッテリーを上にも斜めに取り出します。



バッテリーの取り外しは、デバイスの電源が切れている状態で行ってください。

3. 終了 / 待機 / 再起動

1) スタート

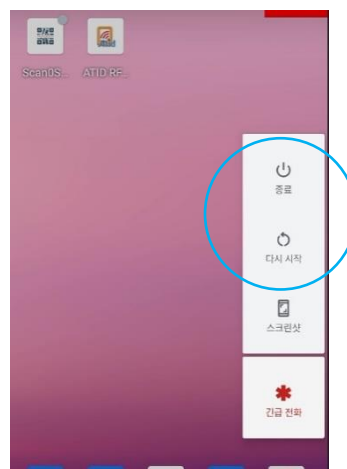
電源が切れた状態で AT907 ポータブルリーダーの右側の電源キーを 3 秒間長押しします。起動画面がオンになり、システムが正常な状態に切り替わります。

2) 待機 および Wake-Up

画面がオフになった状態で AT907 ポータブルリーダーの右側の電源キーを短く押します。システムが正常な状態に切り替わります。

3) 終了 / 再起動

AT907 ポータブルリーダーがオンになった状態で、右側の電源キーを 3 秒間押すと “終了 / 再起動” ボタンが画面右側に以下のように表示されます。



- “終了” を 選択すると、画面が完全にオフになり、システムがオフになります。
- “再起動” を選択すると、画面が完全にオフになり、再起動します。

4) 再起動 2

機器が正常に動作せず、キー動作に反応がない場合、機器を強制的に再起動しなければならない場合があります。

- 動作方法：右側の電源キーを 10 秒以上押すと、システムが自動的に再起動します。

4. 機器バッテリーの充電

バッテリーを初めて使用したり、長期間使用しなかった場合は、バッテリーを充電してください。



付属の充電器とケーブルを使って充電してください。デバイスと互換性のない充電器やケーブルによりダメージを負ったり、デバイスが損傷したりする可能性があります。



この製品はクイックチャージングをサポートしていません。クイックチャージングアダプターに接続すると、機器が破損する可能性があります。



充電器を誤って接続すると、機器に深刻な損傷を与える可能性があります。誤用による損傷は保証対象外です。

1) 優先充電

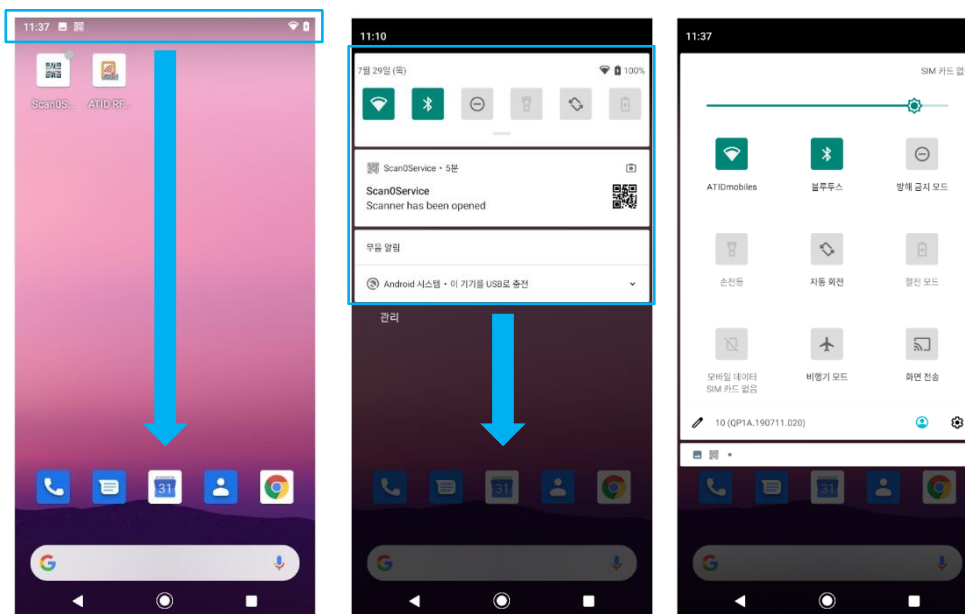
USB ケーブルを充電器に接続し、ケーブルを機器の USB Type-C ポートに接続してバッテリーを充電します。完全に充電した後、充電器から充電器を外してください。



共通機能および設定

1. お知らせメニューとクイック設定

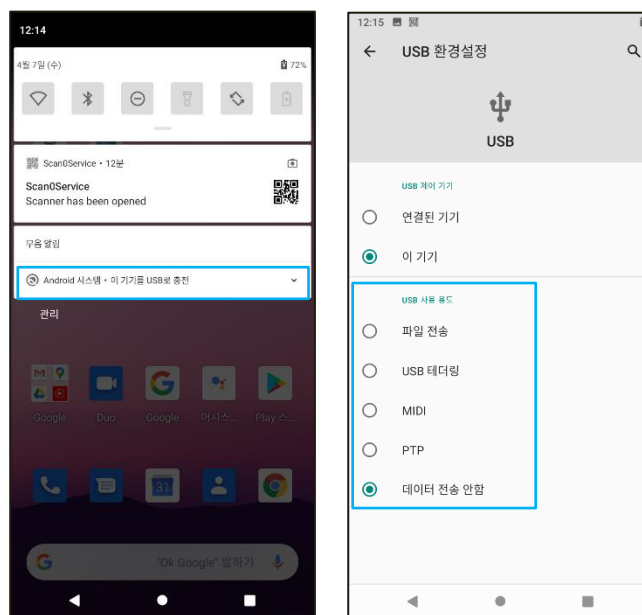
機器やアプリから通知信号を送信した場合、画面の上部をタッチした状態で下にスワイプすると通知ウィンドウが有効になります。通知ウィンドウが有効になっている状態で通知ウィンドウをタッチした状態でもう一度下にスワイプすると、クイック設定画面が有効になります。



2. USB ドライバのインストールと PC 間のデータ同期

- 1) AT907 ポータブルリーダーは USB ケーブルを利用して Windows7 以上の PC から接続した後、自動的にドライバをインストールし、通信準備を完了します。Windows XP の場合は、ドライバを手動でインストールしないと正常に接続できません。
- 2) 接続が成功するドライバ経由で機器のコンテンツを表示できます。
- 3) USB ケーブルを Host 機器に接続した状態で通知ウィンドウを確認すると、“Andorid システム、この機器を USB に充電”通知メニューが表示されます。

- 4) このメニューをクリックすると、以下のような“USB 環境設定”メニューに入り、機器接続関連動作を設定できます。





5) USB 環境設定メニュー

- USB 制御機器：“接続された機器”と“この機器”の中から設定対象を選択します。
- ファイル転送：接続されているデバイスにファイルを送信します。
- USB デザリング：接続されたデバイスとインターネット接続を共有します。
- MIDI：接続された機器で音楽を演奏します。
- PTP：接続された機器に写真を転送します。
- データ転送しない：データ転送をせずに充電だけ行う。

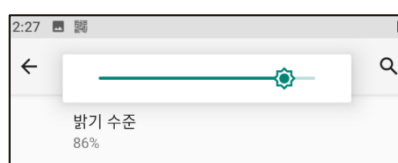
3. ディスプレイ設定

設定のディスプレイメニューから画面表示に関連する設定を変更できます。

メニュー →  **設定** →  **ディスプレイ**

1) 明るさ水準

メニューをタッチすると、スライドバー アイコンが表示されます。このバー アイコンを動かして、LCD 画面の明るさの度合いを調整できます。



2) 夜間照明

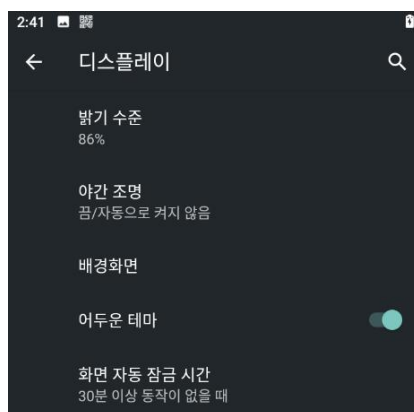
夜間照明を使うと画面が黄色光で表示され、かすかな光でも楽に画面を見たり読んだりでき、睡眠妨害効果が減ります。

3) 待ち受け画面

ライブ壁紙、機器が提供する待ち受け画面、フォトの中からホーム画面の待ち受け画面を選択できます。

4) ダークテーマ

ダークテーマを設定する場合、ホーム画面のデフォルト設定が以下のように暗い色に変更されます。



5) 자동画面ロック時間

画面が自動的にロックモードに変更される時間を設定できます。

6) その他

タッチすると、以下のような追加設定メニューがオープンします。

- **自動画面回転** : 設定する場合、機器を平行に位置させると画面が自動的に横表示に変更されます。
- **フォントサイズ** : 画面に表示されるフォントのサイズを設定できます。
- **ディスプレイサイズ** : 画面に表示されているアイテムを縮小または拡大します。画面上で一部のアプリの位置が変更される場合があります。
- **スクリーンセーバー** : スクリーンセーバーを設定できます。
- **ロック画面表示** : ロック画面状態で通知やメッセージ表示の有無などを設定できます。

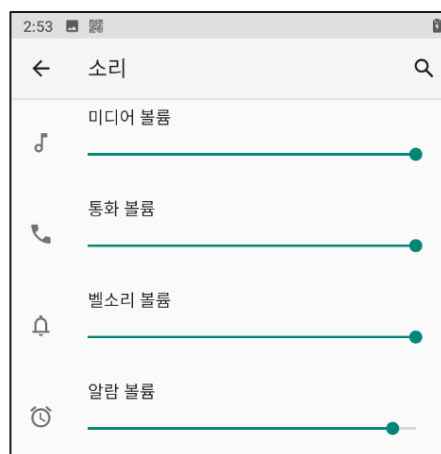
4. 音の設定

設定の音メニューで、機器から発生する音の大きさや振動などの設定を変更できます。

メニュー →  設定 →  音

1) ボリューム設定

メディアボリューム、通話ボリューム、着信音ボリューム、アラームボリュームなどをスライダーメニューで調整できます。



2) 電話受信時の振動

電話受信時の振動設定ができます。

3) 妨害禁止モード

機器通知による妨害を受けたくない場合、通知やメッセージ通話の受信などを一時的に制限できるメニューです。

4) 着信音止めショートカットキー

電源・ボリュームアップボタンを一緒に押すと設定される着信音防止機能を“振動”および“音消去”の中から設定できます。

5) 電話の着信音

電話の着信音を設定できます。

6) 基本通知音

デフォルトの通知音を指定できます。

7) その他

タッチすると、以下のような追加設定メニューがオープンします。

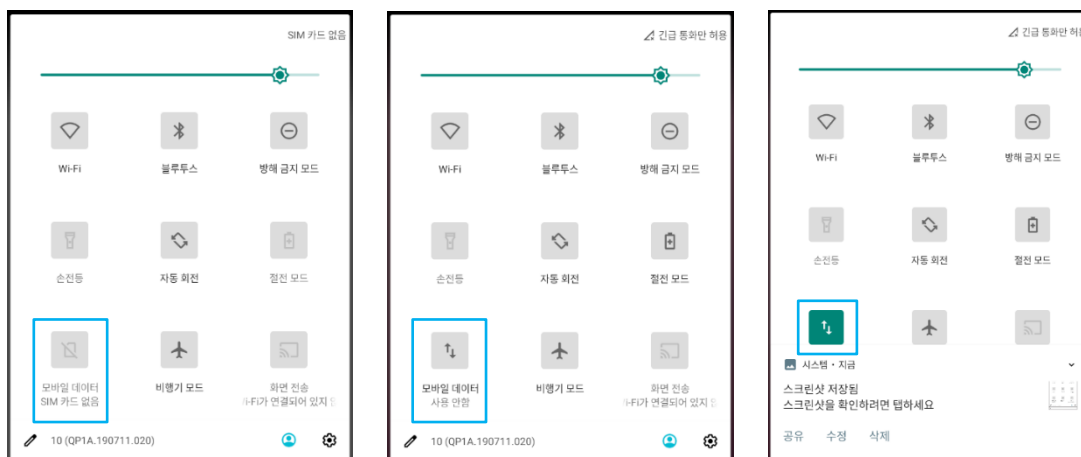
- **ダイアル効果音**
- **画面ロック効果音**
- **充電音と振動**
- **タッチ音**
- **タッチ振動**：タブ、キーボードなどに対する反応
- **サウンドの改善**：スピーカーボリュームブースターを設定できます。

5. モバイルネットワーク接続設定




このリーダーはモバイルネットワークをサポートするため、様々な WWAN ネットワーク接続を通じてデータ通信が可能です。

1) モバイルネットワーク接続

- SIM カードスロットに有効な SIM カードを正しく挿入してください。
- クイック設定メニューから、現在のモバイル データ ネットワークの接続状態をアイコンで確認できます。
- 有効な SIM カードがインストールされていない場合、"SIM カードなし"と表示されます。有効な SIM カードがインストールされている場合、"モバイルデータ"アイコンをクリックして"モバイルネットワーク"機能を ON させることができます。



- 2) モバイルネットワークアイコンを長押しすると設定に入れます。設定メニューからは以下経路からアクセスできます。

メニュー →  設定 →  ネットワークおよびインターネット →  モバイルネットワーク

- 3) モバイルデータ

モバイルネットワークが動作するかどうかを設定します。



- 4) 4G

4G, 3G, 2G のうちモバイルネットワーク接続に使用する通信方式を設定します。



6. Wi-Fi 機能設定

機器の無線 LAN 機能を活性化させると、有効な Wi-Fi ネットワークに接続してデータ転送が可能です。

- 1) Wi-Fi 機能

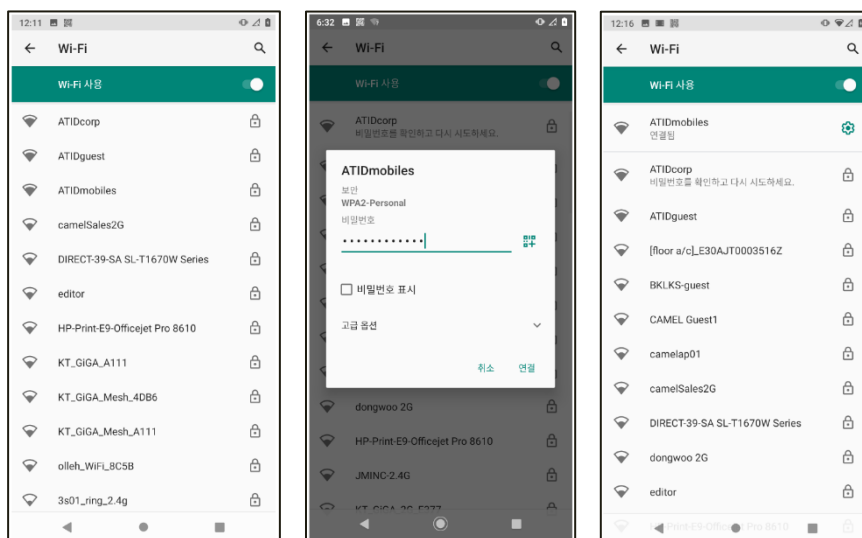
- メイン画面で画面の上段を下にスクロールすると出てくる Short-Cut メニューで上段のアイコンメニューをもう一度下にスクロールすると、現在の Wi-Fi 機能の活性化状態がアイコンで確認できます。
- Wi-Fi ネットワーク接続機能が OFF の場合、アイコンが  のように表示されます。
- Wi-Fi アイコンをクリックすると、Wi-Fi 機能が ON になり、アイコンが  のように変更されます。

- 2) Wi-Fi アイコンを長押しすると、設定に入ることができます。設定メニューからは以下のよう
にアクセスできます。

メニュー →  設定 →  ネットワークおよびインターネット →  Wi-Fi

- 3) Wi-Fi 設定モードに入ると、アクセス可能な AP (Access Point) リストが表示されます。



- 4) 接続したい AP を選択すると、AP に設定されたセキュリティ関連事項が表示されます。有効な情報を入力し、"接続" をクリックすると、機器がその AP に接続されます。



7. Bluetooth 機能設定

機器の Bluetooth 機能を使うと、有効な Bluetooth 機器に接続してデータ通信が可能になります。

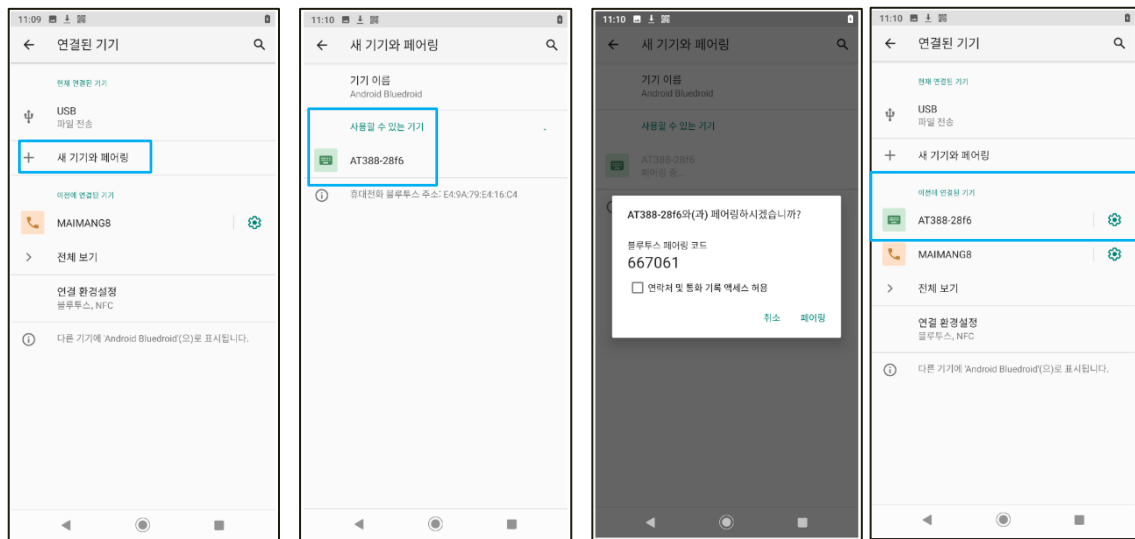
1) Bluetooth 機能を使う

- メイン画面で画面上段を下にスクロールすると出てくる Short-Cut メニューにおいて、上段のアイコンメニューをもう一度下にスクロールすると、現在の Bluetooth 機能の状態が確認できます。
- Bluetooth 機能が OFF になっている場合、アイコン  のように表示されます。
- Bluetooth アイコンをクリックすると、Bluetooth 機能が ON になり、アイコンが  のように変更されます。

- 2) Bluetooth アイコンを長押しすると、設定に入ることができます。設定メニューからは以下のようにアクセスできます。

メニュー → 設定 → 接続された機器

- 3) "+ 新しいデバイスとペアリング" をクリックすると、デバイスの周辺にペアリングを要求する Bluetooth デバイスがあるかどうかを検索を開始します。
- 4) 機器周辺にペアリングを要請している機器がある場合、"使用できる機器"に該当機器が表示されます。
- 5) 接続したい機器をクリックすると接続手順が進み、問題がない場合はペアリング許可画面が表示されます。
- 6) "ペアリング"をクリックすると、機器とのペアリングが完了し、"以前に接続された機器"項目にペアリングされた機器が表示されます。



! 例として表示したペアリングを要求する機器の名称は、接続したい機器によって異なります。

8. そのほかの設定

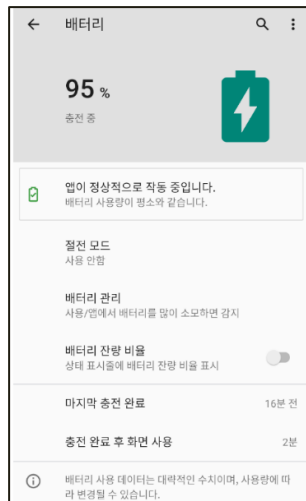
1) アプリおよび通知

機器にインストールされているアプリに対する情報確認とアプリ通知の設定ができます。最近実行したアプリに関する情報も確認できます。



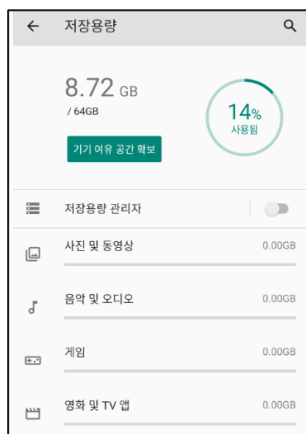
2) 배터리

機器 배터리의 충전상태의確認と動作設定ができます。



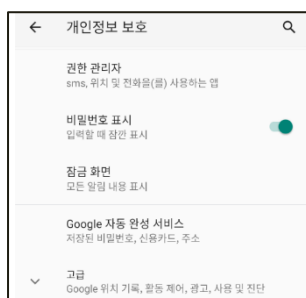
3) 용량

機器内部ストレージ容量の使用状況を確認できます。



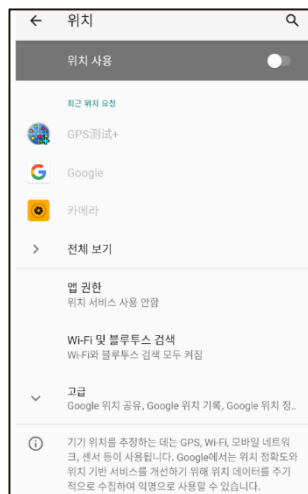
4) 개인정보보호

機器に保存されている情報を保護するために、アプリの権限などを設定できます。



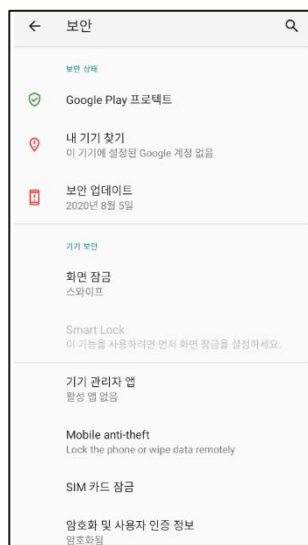
5) 위치

機器の位置情報の使用に対する設定をすることができます。 位置情報をアプリの権限を確認して設定することができます。



6) セキュリティ

機器セキュリティに関する設定の確認と設定の変更を行うことができます。



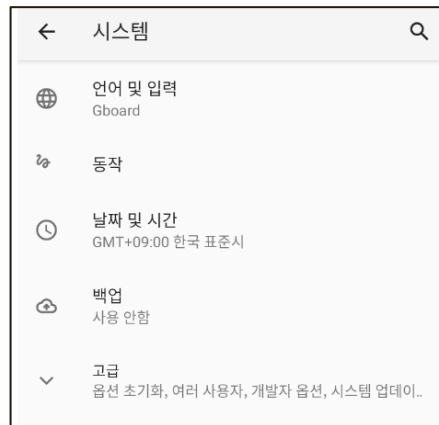
7) アカウント

機器に登録されているアカウントの情報を確認して、新しいアカウントを登録できます。



8) ⓘ 시스템

言語および入力デバイスの設定、日付および時間、オプションの初期化、開発者オプションなどの設定を確認し、設定を変更できます。



9) その他のオプション

- ⓘ アクセシビリティ : 機器アクセシビリティの設定
- ⓘ デジタルウェービングおよび子供保護機能
- ⓘ Google
- ⓘ DuraSpeed : アプリのバックグラウンド動作の許可可否設定
- ⓘ 携帯電話情報

9. カメラ機能

AT907 は 1300 万画素のリアカメラと 500 万画素のフロントカメラが搭載されています。基本的に適応されるカメラアプリを通じて写真または動画撮影が可能です。撮影時の明るさ、解像度などを設定でき、オートフォーカスとフラッシュ機能もサポートしています。



バーコード機能の紹介

AT907 には Zebra 社の 高性能 2D バーコードエンジンが 搭載されています。基本的に提供するデモアプリケーションを使用し、1D または 2D バーコードデータを収集する事も、ユーザーが直接アプリケーションを開発し、バーコードデータを収集する事も可能です。

1. サポートしているバーコードシンボル

| バーコードタイプ | バーコードシンボル |
|----------|---|
| 1D シンボル | Code39, Code93, Code128, Codebar, EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, ITF14, UCC/EAN-128, ITF25, Matrix25, EAN-128, ISBN, etc. |
| 2D シンボル | PDF417, MicroPDF417, Composite, RSS, TLC-39, Datamatrix, QRcode, MicroQRcode, Aztec, MaxiCode, PostalCodes, USPostNet, USPlanet, UKPostal, AustralianPostal, JapanPostal, DutchPostal, etc. |

2. バーコード照準システム

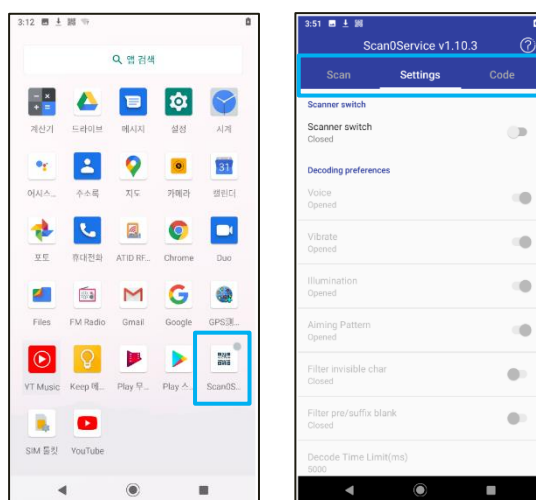
AT907 は バーコード読み取り時に 正確に 読み取りたいバーコードを照準しキャプチャするために、LED ビームと基準スポットが出力されます。



3. バーコードデモプログラム

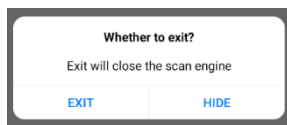
1) バーコードでもプログラムの実行

機器にインストールされている Scan0Service アプリを実行します。実行後 “Scan”、“Setting”、“Code” の 3つの選択可能なメニュー画面があらわれます。



2) バーコードアプリを閉じる

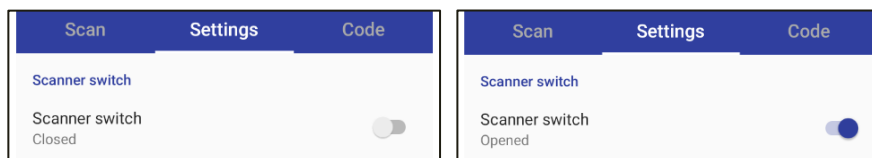
バーコードデモアプリを閉じるとアプリを完全に終了するか、それともバックグラウンドでアプリを実行するかを選択します。



バーコードデータを収集するには、バーコードデモアプリが常にオンになっている必要があります。

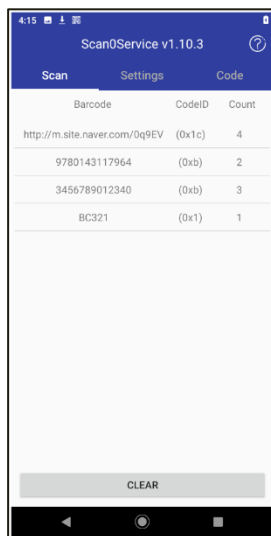
3) バーコード機能の有効化

"Settings" メニューの "Scanner switch" が "Closed" と表示されている場合、バーコード機能が有効になっていない状態です。バーコード機能を使用するためには、右側のスイッチをタッチし、機能を有効化する必要があります。機能を有効化すると "Closed" が "Opened" と変わり、バーコード機能を使用する事ができます。



4) SCAN メニュー

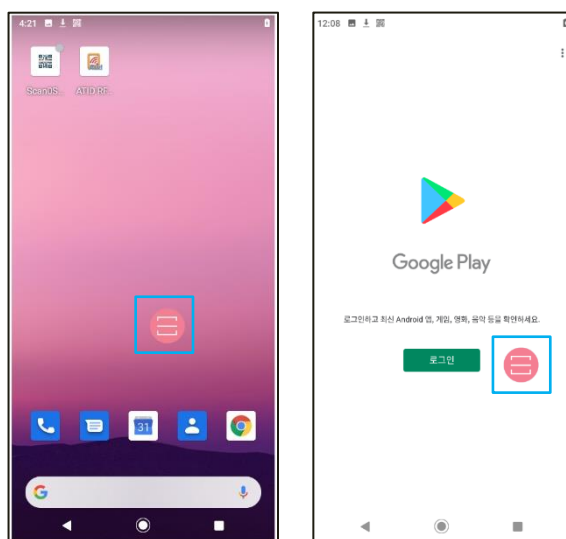
収集されるデータを本メニューから確認できます。"CLEAR" ボタンをクリックすると、収集されたデータが消えます。収集されたデータは "Barcode Data" 、 "Code ID" 、 "Count" などの情報と一緒に表示されます。




5) Settings

バーコードスキャン動作に関する様々な設定を変更できます。

- Voice : バーコードを読む場合のピープ音の発生可否を設定できます。
- Vibrate : バーコードを読む場合の振動の発生可否を設定できます。
- Illumination : バーコードを読む場合の LED 照準機能を動作するか否かを設定できます。
- Aiming Pattern : バーコードを読む場合のスポット照準機能の動作可否を設定できます。
- Filter invisible char : 読まれたデータの中で見えない文字を処理するかどうか設定できます。
- Filter pre/suffix blank : 読まれたデータの前後に付く空白を処理するかどうか設定できます。
- Decode Time Limit (ms) : バーコード機能を動作させる時、データが読み込まれる時まで待つ時間を設定します。設定値は "ms" 単位で設定が可能です。 (ex. 1 秒 = 1000ms)
- Result char set : 読まれたデータを出力する方式を"UTF-8" と "gbk" の中から設定できます。
- Prefix : 特定の値を入力すると、読まれたデータの前に貼り付けて出力します。
- Suffix : 特定の値を入力すると、読まれたデータの後ろに貼り付けて出力します。
- Append ending char : データ出力の後特定動作を追加します。それぞれの動作は以下の通りです。
 - ENTER : データ出力後、行を変えてから、次のデータを出力します。
 - TAB : データ出力後、TAB だけの空白を追加した後に、次のデータを出力します。
 - SPACE : データ出力後、SPACE だけの空白を追加した後に、次のデータを出力します。
 - NONE : データ出力後、何の動作もせずに、続けてデータを出力します。
- Float Button : 下のようにバーコードスキャナを動作させることができる仮想ボタンを有効にします。仮想のボタンを有効にした場合、自由に位置を変更する事ができ、他のアプリを動作させても常に表示されます。



- Stop scan on up : 本オプションが有効になると、トリガーが押されたときのみバーコードスキャナが動作します。
- Continuous Scanning : 本オプションが有効になると、ボタンを押さなくともバーコードスキャナを自動的に、連続的に動作させることができます。
- Scanning Interval(ms) : "Continuous Scan" オプションを有効にすると、設定が可能なオプションです。連続動作の動作間隔を設定します。設定値は ms 単位で設定できます。
- Input Configuration : 読んだデータの出力方式を設定できます。
 - Broadcast : 読まれたデータを通信可能なすべての場所に出力します。
 - Focus : 読まれたデータをカーソルが位置する場所に出力します。
 - EmuKey : 読まれたデータを EmuKey に通信します。.
 - Clipboard : 読まれたデータ Clipboard に通信します。
- End char post on input : 設定不可能
- Key Configuration : 機器のキーパッドにバーコードリーディング機能を割り当てる事ができます。チェックボックスをタッチし  表示されると、そのキーパッドにバーコードリーディング機能が割り当てられていることを意味します。設定可能なキーパッドは以下の3通りです。

| Key Configuration | |
|-------------------|-------------------------------------|
| F1 | <input type="checkbox"/> |
| F2 | <input type="checkbox"/> |
| F3 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| F4 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| F5 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| F6 | <input type="checkbox"/> |
| F7 | <input type="checkbox"/> |

F3 : Side Key 1 (Left)

F4 : Trigger Key

F5 : Side Key 2 (Right)



上記の3つのキーを除いたキーは設定可能ですが、動作はしません。設定しなくても構いません。

4. バーコード機能利用プログラムの開発

ユーザー自身でアプリケーションを開発し、バーコード データを収集することもできます。
詳しくは SDK に含まれている "Barcode Programming Guide" をご参照ください。

UHF RFID 機能の紹介

AT907 には 高性能な Impinj 社の R2000 チップが適用された UHF RFID モジュールと 4dBi の強力な Circular Polarization Antenna が搭載されています。 基本的に提供するデモアプリケーションを使用して UHF タグデータを収集することもできますし、ユーザーが直接アプリケーションを開発してバーコードデータを収集することもできます。

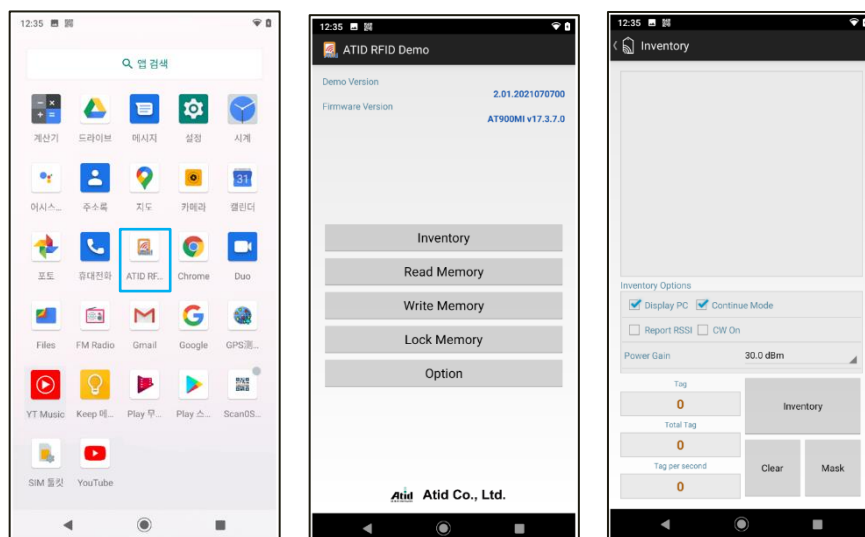


UHF RRFID機能は、使用しようとする国の周波数ポリシーによってハードウェア構成や周波数設定が異なります。 使用前に機器の設定がきちんとできているか確認する必要があります。

1. UHF RFID デモプログラム

1) UHF RFID デモプログラムの実行

機器にインストールされている UHF RFID デモプログラムで UHF タグのデータを収集することができます。



- 2) デモプログラムの 詳しい使用方法是 SDK に含まれている “RFID Demo User Guide”を参照ください。

2. UHF RFID 機能 利用アプリケーションの開発

- 1) ユーザー自身でアプリケーションを開発し、バーコード データを収集することもできます。

- 2) アプリケーション開発サポートのために ATID では SDK(Software Development Kit)を提供します。 提供する SDK の開発環境および含まれている事項は以下のとおりです。

| SDK 開発環境 | 詳細事項 |
|-------------|---------------------------------------|
| 開発ツール | Andorid Studio |
| 開発言語 | JAVA |
| SDK パッケージ構成 | 詳細事項 |
| Bin | デモアプリケーションapk. |
| Doc | ユーザーガイド / マニュアル、プログラムガイド、デモガイドなどの開発文書 |
| Lib | アプリケーション開発用ライブラリ (.aar files) |
| Sample | サンプルコード |



SDKは、機能追加、バグ修正などの理由で予告なくアップデートされることがあります。


KEYBOARD WEDGE

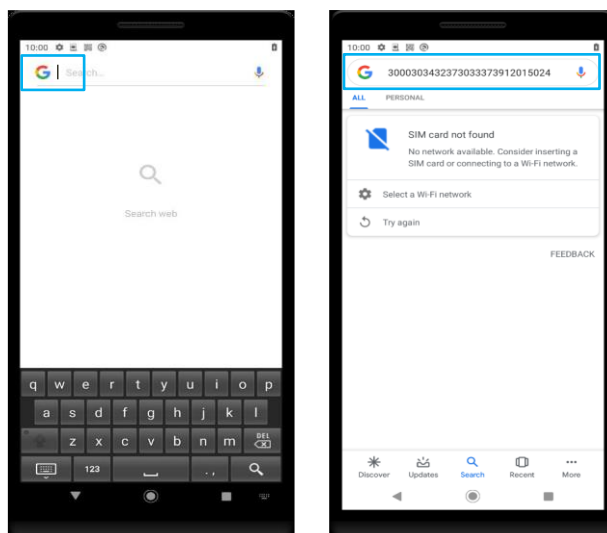
KEYBOARD WEDGE アプリケーションは、キャプチャされたデータをカーソルの位置に出力する機能をサポートするアプリケーションです。KEYBOARD WEDGE アプリケーションを使用すると、アプリケーションを開発しなくても商用データ管理プログラムなどを利用してキャプチャされたデータを管理できます。



バーコードアプリケーションでは“FOCUS”機能で類似の機能をサポートします。

1. KEYBOARD WEDGE アプリケーション動作画面

KEYBOARD WEDGE 機能を動作させると、上段の通知バー  に同じ通知アイコンが表示されます。以下の例を参考にすると、検索窓にカーソルを位置し、RFID タグデータをキャプチャすると、キャプチャされた RFID タグデータがカーソルが位置した検索窓に出力されます。



2. KEYBOARD WEDGE アプリケーションの利用

KEYBOARD WEDGE 機能を使用するためには、機器のキーボードを KEYBOARD WEDGE アプリに設定するプロセスが必要です。詳しい過程は SDK に含まれている“User Guide for Keyboard Wedge”文書を参照してください。

製品保証事項

1. AT907 製品 詳細情報

AT907 に関する詳細情報をご希望の場合は、下記アドレスまでお越しください。

<http://www.atid1.com>

2. SDK ダウンロード

AT907 の SDK が必要でしたら、購入先か当社までお問い合わせください。

3. 保証およびテクニカルサポート

ATID 製品はすべて製品製造日を基準に 1 年間無償修理が可能です。ただし、お客様の使用上の不注意により発生する欠陥については、無償修理期間でも有償修理を原則とします。

本製品に対する保証、テクニカルサポート、およびお問い合わせは、購入先を通じてお問い合わせいただくか、当社までお問い合わせください。

4. 認証情報

本製品は KC、FCC、CE、TELEC 認証を取得した製品ですが、購入した地域以外での使用中に発生した問題については当社では責任を負いません。

詳細については、購入先または当社までお問い合わせください。

ATID Co., Ltd.

住所 : #1402, 83, Gasan Digital 1-Ro, Geumcheon-gu, Seoul, Republic of Korea (Zip: 08589)
電話 : +82-2-544-1436
FAX : +82-2-859-0045
HP : www.atid1.com
Email : inquiry@atid1.com

取扱説明書の内容は、製品の仕様変更または改善のために予告なく変更されることがあります。